

一般質問



下久保 議員

質問

一、(1)学校のグラウンドは、子ども達にとっては元気の源だ。市内で整備が必要なグラウンドはどれくらいあるのか。また、多額の費用をかけたも数年で使えなくなつては困る。費用対効果を考慮する上でも、改修後も予算を確保して維持する必要があると考える。教育委員会並びに市長の考え方を聴きたい。

(2)小中学校の施設は、地域の中で社会体育のための施設としても使われている。グラウンド利用者が使用できるトイレの整備が必要と考える。今後の取り組みはどうか。

二、離島住民にとつての航路は、国道や市道と同じという捉え方をすべきだ。市長の考えはどうか。

国土交通省の制度に離島運賃割引制度というものがある。是非その制度を活用し、離島住民の利便性の向上を図るべきだ。また、国の制度に乗らない飛島と黒島については、航路を市道と捉えて市の単独事業で取り組むことも出来るかと考える。市長の考えを聴きたい。

その他に大気汚染の基準値超えなどについて質問しました。

一、小中学校グラウンド施設とその維持管理について
二、離島地域の交通費助成について

答弁

一、(1)現在、小学校6校と中学校1校が未整備の状況です。グラウンドの維持管理は、各学校においてPTAの奉仕作業や学校予算の範囲内で管理をして頂いております。また、車の乗り入れもしないよう指導をしております。

(2)外からトイレを使用することができないグラウンドが、青島小中、調川小、今福小の3校あります。学校の整備を行う際に検討をいたします。

二、離島航路は、国道という認識をもつて対応すべき課題であると思っております。県の離島振興協議会などにおいて、国道との認識のもとに要望活動が行われております。

離島運賃割引制度は、23年度に制度化され、離島住民の乗船料金を航路距離に応じてバス料金と比較し、その高い差額を国、県、市が補助金として航路事業者に交付する制度となっております。市内航路の場合は、バス料金の方が高いところがあり、制度対象外であるため、現在、航路事業者と県とともに協議している状況です。まずは、この制度の活用を積極的に取り組んでまいりたい。

一般質問



安江 議員

質問

一、(1)放射能から身を守るには、事故発生時間、風速、風向は避難時の重要な点で、市民全員が知らなければなりません。この情報は避難誘導係にどのように届いていたのですか。その確認はどうだったのですか。

(2)SPEDIの活用はどうでしたか。

(3)10条通報後の全島避難時に、先行モニタリングとなつており、これに出る職員の身の安全を守ることが大事ですが、それをどう考えますか。

(4)福島原発事故では、汚染水の管理と手抜き除染が問題となっております。除染水の後始末のマニュアルはどのようなものだったのですか。

(5)避難は伊万里市を通ります。伊万里警察との連携はどうでしたか。

(6)事故時に2万5千人の松浦市民を受け入れて頂く東彼三町の地元住民の方々の話はどうでしたか。

二、(1)大岳生産森林組合所有の山を組合員の高齢化と後継者不足から市が購入しましたが、その後の整備はどうなっていますか。

(2)山林地域の活性化、木質バイオマスの取り組みの現状はどうですか。

一、原子力防災訓練について
二、森林整備について

答弁

一、(1)防災無線で15条通報、原子力緊急事態宣言、その時の風向、風力を放送しました。放送のみで、確認はいたしておりません。

(2)活用されておりません。

(3)住民避難を優先して取り組みました。今後どのような形が市民の安全を守るのに適当か、優先順位をつけながら取り組みをしてまいります。

(4)昨年までの訓練では、汚染水と想定した除染水はタンクに保管するといった措置をとられていましたが、今回の訓練では、そのまま溝に流したとの報告を受けています。このことについては、県との訓練の協議の中で指摘をしたいと思っております。

(5)長崎県警と佐賀県警で通過時間等の入念な打合せがなされており、(6)直接、住民の皆さんとお会いする機会はありませんでした。

二、(1)24年度に約4ヘクタールの利用間伐を行い、25年度も約5ヘクタールの利用間伐を実施する予定です。

(2)専門業者から調査提言を受けるとともに、森林資源利用研究会においていろいろな可能性について効果や採算性の検討を進めております。